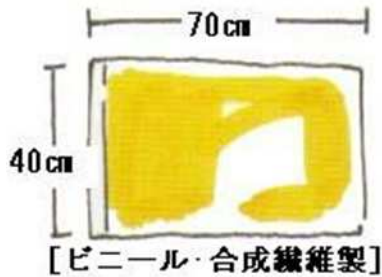


土のうの作り方

台風による高潮や大雨などによる住宅への浸水被害のおそれのある地域では、土のうの作り方をよく知っておくと安心です。



土のう袋を用意します。

土のう袋は縦60cm、横48cmの大きさで、上部に占めて閉じるひもがあります。



二人一組で協力して、袋に土を入れます。

スコップ5~7杯程度の土を入れます。

袋の約6~8割ほど土を入れます。



袋の端のひもを引いて、袋の口をしぼります。



引いて長くなったひもで、袋の口のまわりを3~4回まわして軽く締めます。

ひもの先を、まわしたひもの内側(下から上に)に通して締めると完成です。

の作業をもう一度繰り返すと緩みずらくなります。

「備えあれば憂いなし」

災害は来ないのが一番ですが、万が一のことが起きた時、困らないように事前にしっかりと準備をしておきましょう。

土 1 m³当たりで作成できる土のう数の目安

袋詰め程度	土のう作成数	土のう1袋の重量
6割程度	約80袋	約22kg
7割程度	約70袋	約26kg
8割程度	約60袋	約30kg

土のうの使用法

土のうを並べたり積んだりすることで、事前に浸水を防いだり、排水路を作ったりすることができます。締めた口を一方向に並べ、土のうの上からしっかりと押さえましょう。

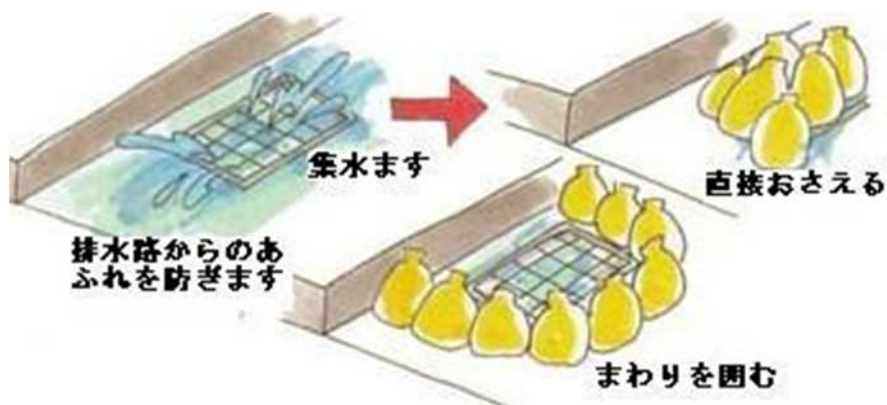
出入口からの浸水を防ぎます



浸水した水の排水路を作ります



排水路からのあふれを防ぎます



土のうを積む場合、水の流れてくる方向に、土のう袋のお尻を向けて積み上げます。水を「せき止める」のではなく、水の「流れる方向を変える」というイメージで積んでみましょう。

